



学校運営協議会だより

～コミュニティスクール～

No.01

令和3年4月23日

発行：CS担当

【教育目標】小樽の未来をつくる 北陵生の育成 【重点】「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について

本校は、学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなって今年で3年目となります。この制度は、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。本校では、年4回の学校運営協議会を通して、地域の声を学校運営に積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

令和3年度 学校運営協議会 委員名簿

番	職名	氏名	役職	就任日
1	会長	遠藤友紀雄	元北陵中学校評議員	H31.4.1
2	副会長	荒谷しげ子	手宮連合町会長	H31.4.1
3	委員	佐藤 健一	清水町副会長	新任
4	委員	北川 和子	民生主任児童委員	H31.4.1
5	委員	美野本明美	民生児童委員	R2.4.1
6	委員	小山 知子	ケアハウスはる施設長	新任
7	委員	村岡 亘	PTA会長	H31.4.1
8	委員	末 友美	PTA副会長	新任
9	委員	横澤 里美	PTA副会長	R2.4.1
10	委員	岡本 清豪	校長	新任
11	委員	庄司 真人	教頭	H31.4.1
12	委員	齊藤 敏弘	主幹教諭	R2.4.1

第1回 学校運営協議会の中で頂いたご意見等 4月19日開催



【学校長より】

- 学校運営協議会は、学校運営はもとより9年間の教育推進の大きな支えになる。ぜひご意見いただきたい。
- 北陵地区では、中学校の教育目標が高島小・手宮中央小にも理解され、小中一貫教育がすすんでいる。
- 学校、家庭、地域の三者が目指すゴールを明確に持つ。

【協議事項や主なご意見など】

- コミュニケーション能力の育成について
⇒表現力を育成することが、なりたい自分になるためのチャンスをつかむための近道である。ぜひ、授業の中でたくさんほめておだてながら鍛えてほしい。
- 教職員の働き方改革と部活動指導について
⇒チームで仕事をしていくこと徹底することが大切である。部活動は社会教育へ移行する流れがある。
- 学力の二極化、GIGA スクールについて
⇒習熟度別学習、放課後学習に取り組んでいる。タブレットを使った学習が3年生から始まっている。貧困の問題とも関わる部分があり学校は大変だが、家庭の事情に合わせた取組をすすめてほしい。
- 通学路の安全対策
⇒中学生が、小学生に道をゆずる姿を見て、大変立派だと感心した。また、バスの中でも上級生が下級生に乗り方を指導している姿をよく見かける。継続してほしい。
- 校則について
⇒服装や髪型等の基本的なルールは、新入生のしおりなどで確認している。備えとしてのきまりはあってよいのではないかな。